

水道事業会計決算

5979万円の
単年度黒字

平成18年度は、使用水量が増加したことなどにより、昨年度より約8528万円多い14億927万円の収入となりました。支出は、昨年度より約7899万円多い13億4948万円となりました。結果、5979万円の黒字となりました。

この純利益(利益剰余金)は、借入金の返済に充てるため積み立てます。

平成18年度の主な事業

矢立地区統合簡易水道整備事業

矢立地区の五つの簡易水道を統合する事業で、平成18年度は岩本ポンプ場の建設などを行ない、平成19年4月から長走地区で給水を開始しました。

水道管路近代化推進事業

柄沢地内で老朽化した配水管の更新工事を行い、比内町扇田地内で老朽化した石綿セメント管の布設替工事を行いました。

横岩地区未普及地域解消事業

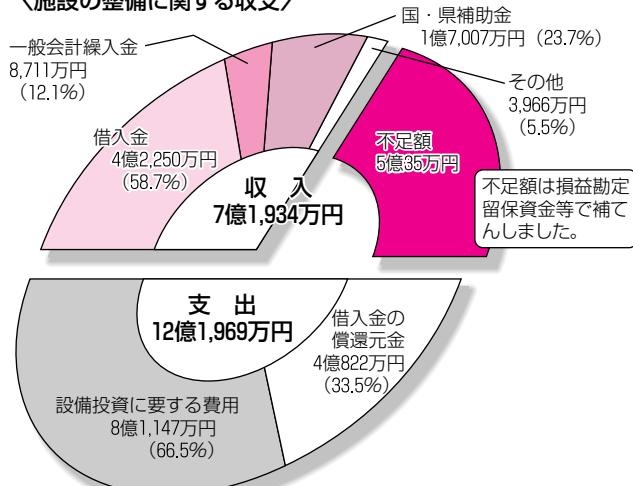
昨年度に引き続き、横岩地区に上水道を通すための事業を進めています。

配水管整備事業

未普及区域を解消するため、有浦東台線他の配水管布設工事を行いました。

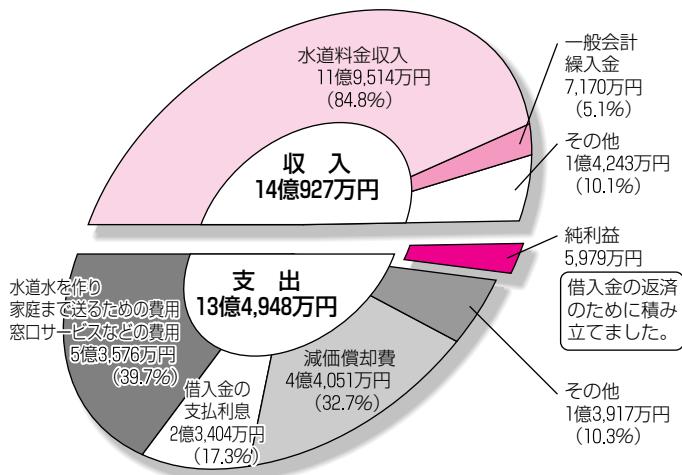
資本的収支(消費税込み)

〈施設の整備に関する収支〉



収益的収支(消費税抜き)

〈事業の運営に関する収支〉

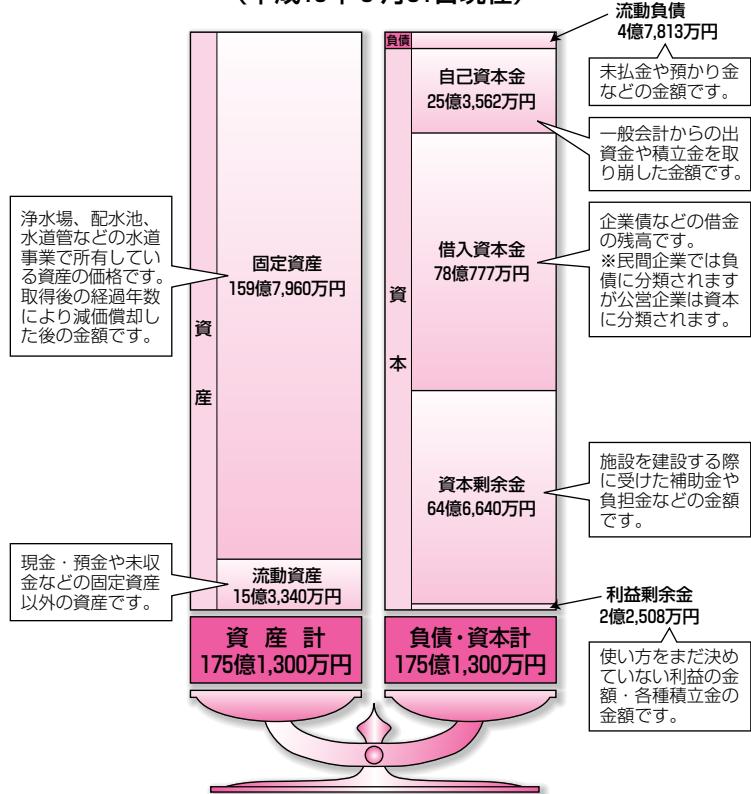


給水状況(上水道)

給水人口	58,670人
給水戸数	21,745戸
給水区域内普及率	89.0%
年間総配水量	6,271,612 m ³
年間有収水量	5,061,279 m ³
有収率	80.7%
1日最大配水量	22,403 m ³
1日平均配水量	17,183 m ³

平成18年度大館市水道事業貸借対照表

(平成19年3月31日現在)



給水状況(簡易水道)

給水人口	8,919人
給水戸数	2,902戸
給水区域内普及率	79.9%
年間総配水量	1,110,918 m ³
年間有収水量	752,992 m ³
有収率	67.8%
1日最大配水量	4,197 m ³
1日平均配水量	2,988 m ³